

今号の目次：

- 1. お知らせ：平成16年度 教員事務負担軽減システム要件調査報告報告書の公開
- 2. お知らせ：「e-黒板研究会」の会員募集について
- 3. 官庁等の教育情報：IT人材について（第6回評価専門調査会資料より）

詳細は、エスクエア・アドバンスのホームページ

<http://www.cec.or.jp/e2a/>
をご覧ください。

「エスクエア・ニュース」への、ご意見・ご感想そして投稿をお待ちしています。

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由にどうぞ。

また、送信先の変更または中止等のご連絡、およびバックナンバーの参照については、「エスクエア・ニュース」のページ

http://www.cec.or.jp/es/E-square/kan/e2news_2004.html
をご覧ください。

1. お知らせ：平成16年度 教員事務負担軽減システム要件調査報告報告書の公開

財団法人コンピュータ教育開発センター（CEC）では、平成15年度のエスクエア・アドバンスの中で、「教員事務負担軽減システム要件調査」を実施し、その調査結果を報告書としてまとめましたので公開します。

報告書の内容についてはホームページ【教員事務負担軽減システム要件調査（概要版）】
<http://www.cec.or.jp/e2a/pdf/kyouinjimu.pdf>（pdf形式）
を参照下さい。

調査の目的：

本調査の目的は、学校における現状の校務を取り巻く問題点を明らかにするとともに、校務へのIT活用により、教員が、

- (1) 事務処理時間の短縮に伴い教務への充当時間を確保する
- (2) 自身のITリテラシーの向上をはかる
- (3) 新たな学校経営や効果的な教育を実現する

といった目的を達成することが可能かどうかについて検討を行うことです。

報告書の内容：

はじめに ～校務とは～

1. 学校現場での校内事務に関するアンケート結果
 - 1) 校務に対する学校現場の負担感
 - 2) 校務に充当する時間
2. IT化を通じた校務負担軽減の可能性
 - 1) ITを活用した校務負担軽減ニーズ
 - 2) IT化を優先的に検討すべき校務
 - 3) 校務におけるIT活用の阻害要因
 - 4) IT活用により期待される効果
3. 国内における校務へのIT活用先進事例
 - 1) 校務支援ソフトの概要
 - 2) 国内における先進導入事例
4. IT化による校務負担軽減にあたっての課題
 - 1) 学校業務のIT化を推進するコンセンサスづくりが必要である
 - 2) 現場でのIT活用推進をサポートする体制づくりが必要である
 - 3) 長期的に必要な取り組み

2. お知らせ：「e-黒板研究会」の会員募集について

CECでは、小・中・高等学校に整備されるIT機器の中でその有効性が期待される「電子情報ボード」の要件調査と教育への利活用方法の調査・研究等を行うことを目的として、「e-黒板研究会」を平成15年度に立ち上げました。
平成16年度はこの「e-黒板研究会」の活動を継続し発展させるために、会の目的に賛同いただける方を対象に会員を募集します。

- (1) 会の目的
「電子情報ボード」に関する要件調査と教育への利活用方法の調査・研究等を行う
- (2) 会員のメリット
CECの「e-黒板研究会」担当者が発行するメールニュース（「e-黒板研究会ニュース」）を通じて、「電子情報ボードの教育への利活用」に関する調査結果・活用状況／活用事例・イベント・新製品／新技術・評価／効果等の情報を入手、または、広報できる。

- (3) 会費・会則：なし
- (4) 入会方法・退会方法
ekokuban@cec.or.jp にメールを送信する。
入会時には、
 - ・氏名
 - ・所属（所属団体名および学校/自治体・教育委員会/官公庁/団体/企業/マスコミ/
その他/個人の種別）
 - ・メールアドレスを知らせる。（※この情報は、メールニュースを送信する目的以外には使用しない。）
- (5) 「e-黒板研究会ニュース」の内容
 - ・「e-黒板研究会」の活動の成果（アンケート/ヒアリング等の調査結果のまとめ）
 - ・電子情報ボードを活用した授業実践事例
 - ・電子情報ボードを活用した授業の評価/効果等の情報
 - ・イベント（シンポジウム/公開授業等）のお知らせ
 - ・新製品/新技術関連（機器貸出制度/特別割引販売/サンプル版ソフト等）のお知らせ
 - ・その他「e-黒板」に関する情報
- (6) 「e-黒板研究会ニュース」への投稿方法
ekokuban@cec.or.jp にメールを送信する。

3. 官庁等の教育情報：IT人材について（第6回評価専門調査会資料より）

~~~~~  
首相官邸のホームページ（<http://www.kantei.go.jp/>）に第6回評価専門調査会資料が公開されています。  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/hyouka/dai6/6gijisidai.html>  
公開されている資料は以下の通りです。

#### [資料]

- 資料1 報告書構成案と今後の日程案
- 資料2-1 「IT人材」の議論に際して  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/hyouka/dai6/6siryou2-1.pdf>
- 資料2-2 自治体に於けるIT人材育成の取り組みと課題～東京都三鷹市の事例から～  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/hyouka/dai6/6siryou2-2.pdf>
- 資料2-3 初等中等教育分野のIT人材育成について  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/hyouka/dai6/6siryou2-3.pdf>
- 資料2-4 英国とアジアにおける教育事例のご紹介（英語版、日本語版）  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/hyouka/dai6/6siryou2-4j.pdf>
- 資料3 評価専門調査会（第5回）議事要旨
- 参考資料1 e-Japan重点計画-2004（案）の概要  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/hyouka/dai6/6sankou1.pdf>
- 参考資料2 e-Japan重点計画-2004（案）  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/hyouka/dai6/6siryou2-1.pdf>

「資料2-4 英国とアジアにおける教育事例のご紹介」では、英国における教育の現状として、  
双方向ホワイトボード（電子情報ボード）に  
・予算：5,000万ポンド（2004～2005年）  
が政府からの出資としてあげられてことが示されています。

以上

=====  
編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一、末野 高樹  
メールアドレス： e2news@cec.or.jp  
=====